



2021年3月30日

各 位

会社名 株式会社 京葉銀行
代表者名 取締役 頭取 熊谷 俊行
(コード番号 8544 東証第一部)
問合せ責任者
執行役員 経営企画部長 藤田 剛
(TEL. 043-306-2121)

第19次中期経営計画の策定について

当行は、2021年4月より2024年3月までの3年間の計画期間とする“第19次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2024 ～さらなる進化～」”を策定しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 名称

第19次中期経営計画

「 α ACTION PLAN 2024 ～さらなる進化～」

2. 計画期間

3年間（2021年4月～2024年3月）

3. 環境認識と計画のねらい

当行を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化やライフスタイルの変化、急速なデジタル化の進展、世界的な低金利の長期化などにより、大きく変化しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大は、地域経済にも大きな影響を与え、多くのお客さまが困難な状況に直面しています。

こうした中、京葉銀行グループは前中計で取り組んできた人財育成や課題解決型の営業を、本中計で新たなステージへ進化させることで、地域やお客さまのあらゆる課題解決に取り組み、地域のお客さまとともに持続的な成長を目指してまいります。

4. 3つの基本戦略

① 課題解決型営業の強化
➤ 地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。
② 生産性の向上と人財の育成
➤ デジタル技術を活用し、当行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。
③ 経営基盤の強化
➤ リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

5. 本中計で目標とする経営指標

項目	2024年3月期
親会社株主に帰属する当期純利益	80億円
自己資本比率（連結）	11%程度
OHR（単体）	60%台

以上

第19次中期経営計画

α ACTION PLAN 2024

～さらなる進化～

確かな“きずな”を、未来へ。

株式会社京葉銀行

副題「さらなる進化」に込めた想い

前第18次中計における取り組みを、本中計で新たなステージへ進化させることで、地域のお客さまとともに「成長の好循環」を生み出す。こうした私たちの姿勢、意思を込めています。

成長の好循環

ソリューションサービスの進化

課題解決力の進化

人財力の進化

お客さまを笑顔に
お客さまの持続的成長



地域を元気に
地域の持続的成長



お客さまからの感謝が
従業員の誇りや自信に
従業員の自律的成長



社会課題 外部環境

コロナ禍

少子高齢化・後継者不足

低金利環境の長期化

ライフスタイルの変化

急速なデジタル化

規制緩和

SDGs

第19次中期経営計画 α ACTION PLAN 2024 ～さらなる進化～

計画期間

2021年4月～2024年3月（3年間）

3つの基本戦略

基本戦略①

課題解決型営業の強化

地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。

基本戦略②

生産性の向上と人財の育成

デジタルを活用し、当行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。

基本戦略③

経営基盤の強化

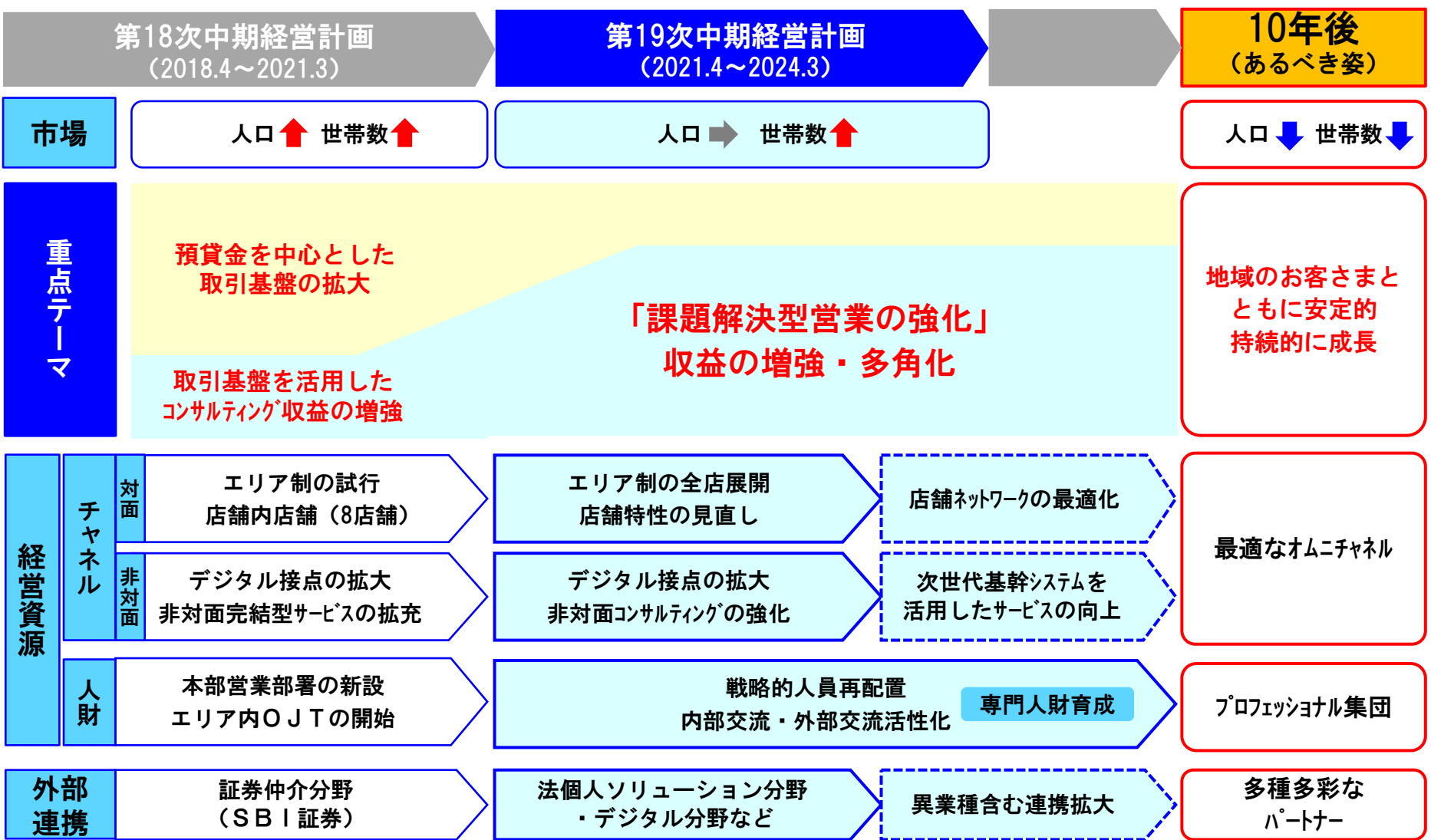
リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

目指す銀行像

お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する
魅力のある、活力あふれる銀行

第19次中期経営計画 計画の位置づけ

前中計の取り組みを深堀し、取引基盤を活用した課題解決型営業を展開



第19次中期経営計画 主な計数項目

確かな“きずな”を、未来へ。



京葉銀行

経営指標

項目	2024/3（計画）
親会社株主に帰属する当期純利益	80億円
自己資本比率（連結）	11%程度
OHR（単体）	60%台

主要計数（2024/3計画）

法人ソリューション

中小企業向け 貸出残高	法人ソリューション 関連手数料(※)
1兆6,000億円	30億円

個人ライフプランニングサポート

住宅ローン残高	預かり資産 関連手数料
1兆7,800億円	35億円

(※) (株)京葉銀キャピタル&コンサルティング分を含む